

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	62	事業名	保健衛生普及事業	担当部課	福祉部保険医療課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計区分	国民健康保険特別会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款—項—目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	データヘルス計画、国民健康保険法、地域福祉計画	5-1-1 保健衛生普及費	
	事業開始の背景、経緯等	国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 国民健康保険の保険者として、健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けて、保健事業を実施する。 ・糖尿病重症化予防事業 ・医療費通知 ・後発医薬品差額通知 ・医療機関受診勧奨通知
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(国民健康保険被保険者)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 自分の身体を自分で管理するセルフケア能力を高めて、健康寿命を延ばす。

項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	
			事業費(A)	千円	予算	6,428	8,090	14,310
			決算	4,811	7,136	10,570	12,387	
人件費(B)	千円	決算	3,009	3,063	6,538	11,394		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	7,820	10,199	17,108	23,781		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		9,239	8,955	8,748	8,681	8,724	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		1	1	2	3		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
			生活習慣の改善意欲がある人の割合	%	目標	62.0	62.5
		実績	67.1	66.7	71.0	集計中	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
保健事業の実施効果を見るために、生活習慣の改善意欲(健診時)がある人の割合を成果指標とする。			特定健康診断質問項目の中で、生活習慣の改善について、「改善意欲あり」以上の回答をした割合。 目標値は総合計画、データヘルス計画と整合している。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 健診結果から特にリスクが高い人に対し、3か月間の医療連携による保健指導を行った。指導後のアンケートでは全員から食事に関して改善の意欲があると回答を受けた。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 保健指導参加者から、いろいろな人が自分の健康状態を気にしてくれるため、途中で諦めることなく参加することができたと意見をいただいた。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 健診結果を基にしたハイリスクアプローチを継続しながら、令和4年度からは医療と介護の一体化事業としてポピュレーションアプローチもすすめていく。

事業を構成する 事務事業①	事務事業①	重症化予防事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込	20	23	25	25	25
			実績	9				
	(2) 保健指導後健康に対する意欲に変化があった人数	%	見込	100	100	100	100	100
			実績	100				
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> 健診結果及びレセプトから数年以内に透析や虚血性心疾患のリスクがある人に対して、専門医、薬剤師栄養師、かかりつけ医が連携して保健指導を実施する。							今後の方向性	拡充

事業を構成する 事務事業②	事務事業②							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1)		見込					
			実績					
	(2)		見込					
			実績					
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する 事務事業③	事務事業③							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
			実績					
	(3)		見込					
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 令和4年度から、現在実施している重症化予防事業の保健指導について、対象者を後期高齢者にも広げて実施する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和5年度(データヘルス計画第2期最終年度)までに被保険者それぞれの健康状態にあわせ、リスクが高い人には個人に適したアプローチを、健康な人には現状を維持できるような健康意欲が向上するアプローチをする等、対象者に適した事業を整備する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、重症化予防事業の効果的かつ効率的な実施に努めてください。 ・引き続き、事業効果の検証を行い、予防効果の高い事業実施に努めてください。
	内部意見への回答	